

これらの副作用の発現には特に注意していただき、症状があらわれれば早く医療機関を受診してください。

特に注意していただきたい副作用

● **サイトカイン放出症候群**
(発熱、めまい、ふるつき、息切れ、寒気、脈が速い、脈が乱れる、呼吸が苦しい、血圧が低い等)

● **免疫エングラ-細胞関連神経毒性症候群**
(立ちくらみがある、昼間に眠気が強い、力が入らない、読み書きができない、言葉が出ない、意識の低下、物忘れ、ふるえ、けいれん等)

● **腫瘍崩壊症候群**
(脈が速い、脈が乱れる、力が入らない、尿の量が少ない、吐き気、けいれん、しびれ等)

医療関係者の方へ

エプキンリの治療を行った医療機関の連絡先

- 医療機関名：
- 担当医師の診療科：
- 担当医師名：
- 医療機関の電話番号：

ジェンマブ株式会社 くすり相談室
TEL:0120-470-317
受付時間 9時～17時半/
土日・祝日、会社休業日を除く

アブヴィー合同会社 くすり相談室
TEL:0120-587-874
受付時間 9時～17時半/
土日・祝日、当社休日を除く

2023年10月作成
SAF JP-Epco-0000002-v1.0
JP-EPCOR-230071-1.0

エプキンリ連絡カード

RMP

監修：独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター 副院長 / 永井 宏和 先生

エプキンリの治療を受けている患者さんとそのご家族へ

- このカードは常に携帯してください。
- エプキンリの治療中は副作用があらわれることがあります。患者さんご本人が症状に気づくことが大切ですが、ご本人では認識できない副作用や、重症化する恐れのある副作用もあります。**ご家族やご本人が、このカードに記載している特に注意していただきたい副作用の症状に気づいた場合は、すぐに医療機関を受診してください。**
- 他の医療機関を受診する際は、このカードを必ず提示し、エプキンリの治療を受けていることをお伝えください。

この患者さんはB細胞性リンパ腫と診断され、エプキンリによる治療を受けています

- エプキンリは、T細胞表面抗原CD3及びB細胞表面抗原CD20を特異的に認識するIgG1 二重特異性抗体であり、CD20発現腫瘍細胞に対するT細胞介在性の細胞傷害を誘導する薬剤です。
- エプキンリの治療中に、副作用としてサイトカイン放出症候群、免疫エングラ-細胞関連神経毒性症候群、腫瘍崩壊症候群等があらわれることがあります。

詳細は電子化された添付文書(電子添文)をご参照ください。
専用アプリ「添文+ヒール」でGSIバーコードを読み取る
ことにより、最新の電子添文等を開覧できます。



- 緊急時は、裏面に記載しているエプキンリの治療を行った医療機関に連絡してください。

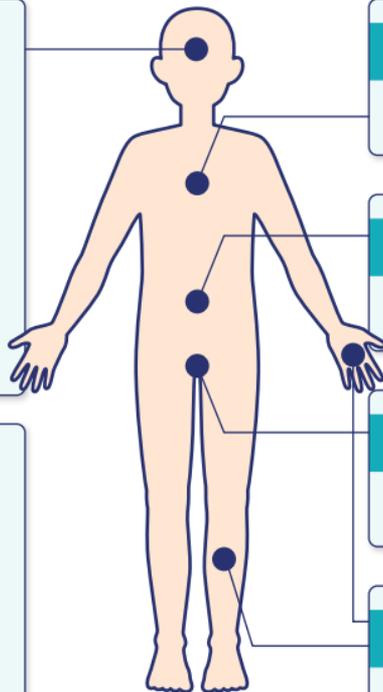
このような症状があらわれたら、できるだけ早く医療機関を受診してください。

頭の症状

- めまい、ふらつき
- 昼間に眠気が強い
- 物忘れ
- 読み書きができない
- 言葉が出ない
- 意識の低下

全身の症状

- 発熱
- 寒気
- けいれん
- 力が入らない
- ふるえ
- 脈が速い、乱れる
- 血圧が低い
- 立ちくらみがする



胸の症状

- 呼吸が苦しい
- 息切れ

お腹の症状

- 吐き気

泌尿器の症状

- 尿の量が少ない

手足の症状

- しびれ

